

製品名: DNA pol δ3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10057**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	POLD3
別名	POLD3; KIAA0039; DNA polymerase delta subunit 3; DNA polymerase delta subunit p66
遺伝子 ID	10714.0
SwissProt ID	Q15054
免疫原	抗血清はヒト POLD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 411-460

背景

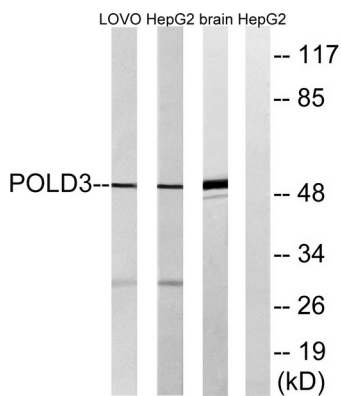
この遺伝子は、DNA ポリメラーゼデルタの 66kDa サブユニットをコードします。DNA ポリメラーゼデルタは、ポリメラーゼ活性と 3'-5' エキソヌクレアーゼ活性の両方を有し、DNA 複製および修復において重要な役割を果たします。コードされているタンパク質

は、他のサブユニットおよびプロセッシングコファクターである増殖細胞核抗原（PCNA）との相互作用を介して、DNAポリメラーゼデルタの活性を調節する役割を果たします。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。[RefSeq提供、2012年3月]機能：DNAポリメラーゼデルタの最適な活性に必要。サブユニット：125kDa、50kDa、66kDa、および12kDaのサブユニットからなるヘテロ四量体。POLD2と相互作用します。PCNAと相互作用します。、

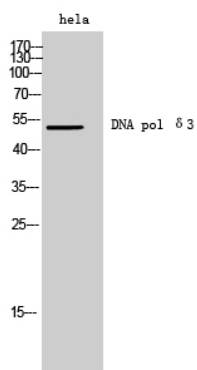
研究分野

プリン代謝、ピリミジン代謝、DNA複製、塩基除去修復、ヌクレオチド除去修復、ミスマッチ修復、相同組換え、

画像データ



POLD3抗体を用いた、LOVO、HepG2、およびマウス脳細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



1: 500に希釈したDNA pol δ3ポリクローナル抗体を使用したHeLa細胞のウェスタンブロット分析。